

まちがい

宮本百合子

青空文庫

夜の八時ごろ、お隣の女中さんが柿の木の彼方から、お電話ですと呼んでくれた。出でみたら弟の家内で、いそがしいところ呼び立てて御免なさいね、百合ちゃん、四谷旭町——旭は九に日をのせた旭ね、そこの大久保つてところ知つていて？ と訊くのであつた。
さア、大久保——何なの？ すると、きつとわきに六つの甥がいでもするのだろう。セブンなんだけれど、ということである。そこからハガキが来てね、上落合へ一遍行つて回送されて来ているなんだけれど、お召の著物が一枚五円で入つているのが明日限りで流れるつて知らして来たんだけれど。——上落合に住んでいたこともあり、そういうところに縁もなくはないから、あした流れるという言葉に慌てさせる実感があつて、私は受話器を耳に当てたままいそがしく記憶の裡をかきさがした。それでハガキにはそれだけ書いてあるつきりなの？ ええ。名がちがうなんだけれど、中條進方、相川栄様とあるの。栄さんと云えば壺井の栄さんしかない。その栄さんが又互の生活のなかでは、そういう場面に登場するので愈々現実の条件がそろい、じや、いつかから見えないつて云つていた縞の、ね、あれかもしない、と私は電話口でその時分の人出入りも激しかつた暮しの姿を思いおこした。その頃なら私が知らないその旭町とかに私の著物が運ばれてゆくこともあり得たのであつ

た。でも、利子どの位なの？ 七十五銭で書いてあるわ。七十五銭？ たつた？ ジヤ変だわ。上落合にいたのは四年も前よ、だもの——変だ、四年にそれだけつてことはないし……段々正氣づいて来て私は、それは人ちがいに相異ない、と初めて確りした声を出した。四年の間待つているというようなことはあり得ないのだからね。と断言した。それにしても滅多にない姓が同じで、栄さんという名まで添つてているというのは何と珍しいことだろう。じやそこに電話あるんでしよう？ 一寸かけてね、間違つて回送されて来たから、明日は待つて上げてくれ、と云つておいてお上げなさいよ。ええそうしましよう、でも、何て妙なんでしょう。いかにも妙な気がするらしく、ぼんやりとひっぱつて云つて、じや、さようならとそれで電話はされた。

裏の小道を生垣沿いにかえりながら、私は何となしひとり笑えて來た。咄嗟とつさに、自分のことにはひきつけてあわてたような氣持になつたのが如何にも女房くさくて我ながら滑稽なものであつた。

三四日してから、或る友達のところへ行つたら、主人は留守で子供もいらず、がらんとした茶の間に栄さんがそこの七十のお婆さんと坐つていた。両方から、おや、と云い、ここで会おうとは思わなかつたでしょう、と云つた。それから一人でおばあさんにお辞儀をし

てそこを出て、吉本屋によつたりしてバスまでぶらぶら歩きながら、私はふつと夜の電話の件を思い出して話した。すると栄さんはそういうときの癖で、一寸足を止めるようにして片方の手のひらをひろげ空をうつような恰好をしながら、在りますよ、ホラ、お寺へ出る迄に蕎麦屋があつたでしょう、と私よりは永く住つていたその界限を説明した。あすこの右側だつたかでそういう表札を見かけたことがありますよ。でも、栄さんまでいるとはおどろいたわねえ。一体その栄さんて、どんな栄さんなんだろう、と栄さんが云うにつれて、私たちは思わず大きな体を折りまげてふき出した。どつちもまん丸な私たち二人には、どんな栄さんなんだと云つた途端、どんなことしても自分たちより大きい栄さんがあろうとは思えず、二人ながら何となく、それは小さい栄さんどうたの文句のような調子で感じ、それが又互に通じあつたところに独特なおかしさがあり、歩きながらも猶笑えるのであつた。

〔一九三九年十二月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十七卷」新日本出版社

1981（昭和56）年3月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第4刷発行

底本の親本：「宮本百合子全集 第十五卷」河出書房

1953（昭和28）年1月発行

初出：「新風土」

1939（昭和14）年12月号

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2003年9月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

まちがい

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>